

【シラバス I】 令和 8 年度 学習計画・学習評価計画

教科名	地歴	科目名	(学) 総合日本史			単位	4
学年	3	組	1 2 3	担当	小島千晶		
教科書	詳説 日本史 (山川出版社)						
目的と目標	広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者となるため、社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決できる能力を身につける。						
コンピテンシー	○理解する力 ●考える力 ◎関係する力						
授業と学習について	授業は、史資料を多く活用し、歴史的事象について用語を暗記するにとどまらず、因果関係やその後の世界に与えた影響などについて考察する活動を積極的に行う。生徒は、授業前に教科書や資料集を用いて予習を行い、授業でその知識を生かして発展的な内容について理解を深めることが望ましい。						

主に用いる評価の観点

	単元・学習内容	知識 技能	思考 判断 表現	主体 学習 態度	補足事項
4月	近世 幕藩体制の動揺 1、幕政の改革 2、宝暦・天保期の文化 3、幕府の衰退と近代への道 4、化政文化	○	●	◎	
5月	近代・現代 近世から現代へ 1、開国と幕末の動乱 2、幕府の滅亡と新政府の発足	○	●	◎	
6月	近代・現代 近代国家の成立 1、明治国家と富国強兵 2、立憲国家の成立	○ ○	● ●	◎ ◎	
7月	近代・現代 近代国家の展開 1、日清・日露戦争と国際関係	○	●	◎	
8月	近代・現代 近代国家の展開 1、日清・日露戦争と国際関係	○	●	◎	
9月	近代・現代 近代国家の展開 1、日清・日露戦争と国際関係 2、第一次世界大戦と日本 3、ワシントン体制	○	●	◎	

	単元・学習内容	知識 技能	思考 判断 表現	主体 学習 態度	補足事項
10月	近代・現代 近代国家の展開 3、ワシントン体制 近代の産業と生活 恐慌と第二次世界大戦 1、恐慌の時代 2、軍部の台頭 3、市民生活の変容と大衆文化	○	●	◎	
11月	近代・現代 占領下の日本 高度経済成長の時代	○	●	◎	
12月	近代・現代 激動する世界と日本	○	●	◎	
1月	まとめ・演習	○ ○	● ●	◎ ◎	
2月	家庭研修	○	●	◎	
3月	家庭研修	○	●	◎	
その他					